

(高齢者入所施設用) 新型コロナウイルス感染者発生に備えての 入所者リスト・職員リストの事前準備について

1 はじめに

高齢者入所施設で、新型コロナウイルス感染症対策をするにあたり下記の特徴に留意する必要があります。

- ・感染すると重症化するリスクの高い高齢者が集団生活をしている
- ・介護という濃厚接触を生じやすい環境がありクラスターを生じやすい

そのため施設内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、クラスター化を防ぐために施設から接触者リストを可能な限り速やかに保健所に提出し、迅速に検査を行えるようにすることが重要です。

この接触者リストの作成に時間を要することから、各施設における平時の対策として事前に入所者および職員のリストを準備しておくことが、いざという時の時間短縮に効果的と考えております。

※なお、施設により既存のリスト等で対応できる場合は、必ずしも添付のリスト（参考様式）を使用する必要はありません。

2 リストの使用目的

- (1) PCR 検査対象者、濃厚接触者の特定
- (2) 入所者の ADL や認知機能に沿った検査実施方法の検討
- (3) 施設の全体像（職員数、入所者数、入所者の状態像）を踏まえた感染の広がりや発症リスクの明確化
- (4) 入所者の状況（必要な医療や介護の量）を踏まえた応援職員の派遣の検討

※このリストは感染者が発生した時に使用するものであって、平時に提出する必要はありません。